

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

1年 いくつと いくつ □35~43

●10までの数の合成・分解の勉強をします。  
「10はいくつといくつに分けられるか」「いくつといくつで10になるか」を考えることは、6月から始まるたし算やひき算の基礎になる大切な勉強です。10個のあめを用意し、片手のあめを見せてもう一方のあめの数を当てさせるゲームなど、お子さんが興味を持つように工夫しましょう。



慣れるまでは、おはじきなどの「物」をさわりながら考えましょう。

2年 ひき算, 長さ □34~57

●2けたの数のひき算の筆算ができるようにします。

$$\begin{array}{r} 31 \\ -18 \\ \hline 27 \end{array}$$

- ① 位をたてにそろえて書く。
- ② 一の位の計算  
5から8はひけないので、十の位から1くり下げる。  
 $15-8=7$
- ③ 十の位の計算  
十の位は1くり下げたので3。  
 $3-1=2$
- ④ 答えは27。

くり下げた後の数を書く習慣をつけよう。



●長さの単位「cm」「mm」を習います。

3年 たし算とひき算, わり算 □38~67

●3けた・4けたのたし算・ひき算の筆算を学習しまた、暗算のしかたや計算の工夫を学びます。  
●わり算の意味を知り、わり算の答えが求められるようにします。

$12 \div 3 = 4$

〈12個を3人で同じ数ずつ分ける〉



3のだんの九九を使って求めるよ。

〈12個を1人に3個ずつ分ける〉

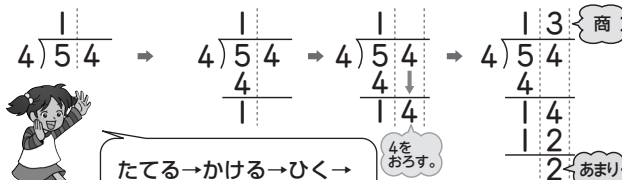


ポイント かけ算九九を覚えていないとできないので、しっかり復習しておきましょう。

4年 わり算の筆算, 折れ線グラフ □26~54

●2けた÷1けた, 3けた÷1けたのわり算の筆算ができるようにします。かけ算九九を何度も使うので、まちがえないように注意しましょう。

〈54÷4の筆算のしかた〉



たてる→かける→ひく→おろすの順に計算しよう。

●折れ線グラフをよめるようにし、表をよみとって、折れ線グラフにかき表すしかたを学習します。

5年 2つの量の変わり方, 小数のかけ算 □36~58

●比例について学習します。  
〈例〉2つの量 ○と△  
○が2倍, 3倍, …になると, △も2倍, 3倍, …になる。=「△は○に比例する」  
●整数×小数, 小数×小数の筆算ができるようにします。

$$\begin{array}{r} 1 \text{ ① } 1 \text{ けた} \\ \times 2 \text{ ④ } 1 \text{ けた} \\ \hline 6 \ 8 \\ 3 \ 4 \\ 4 \text{ ⑧ } 2 \text{ けた} \end{array}$$

・積の小数点から下のけた数は、かけられる数とかける数の小数点から下のけた数の和になる。

6年 対称な図形 □38~51

●対称な図形の性質をもとに、対称となる図形を見つけたり、かいたりできるようにします。実際に紙で図形を作って折ったり回転させたりして楽しく学習すると、興味が深まるでしょう。

ポイント

- 〈1〉直線(対称の軸)を折りめにして折ると折りめの両側がぴったり重なる図形は線対称。
- 〈2〉点(対称の中心)を中心に180°回転させて重なる図形は点対称。



いろんな図形に鏡をあてて、線対称になる形を見つけてみよう。